

日本における外国人労働者の全体像と コロナ禍における影響

2020年12月作成
株式会社ASIA Link

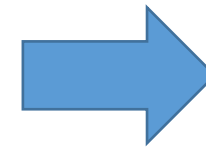
1. 日本における外国人労働者の全体像
2. コロナ禍における外国人材の実態
3. コロナ禍にチャンスあり？
留学生の就職事情の変化と今後の見通し

1. 日本における外国人労働者の全体像

はじめに ~外国人雇用はどのような文脈で語られるか？

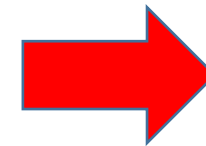
日本の経済の2つの危機

①日本の人口減少
→労働力不足
→日本人が採れないなら外国人を



・技能実習生
・特定技能
・外国人留学生のアルバイト

②日本の人口減少
→市場の縮小
→日本で売れないなら海外で
→海外と関わるビジネスができる人材を

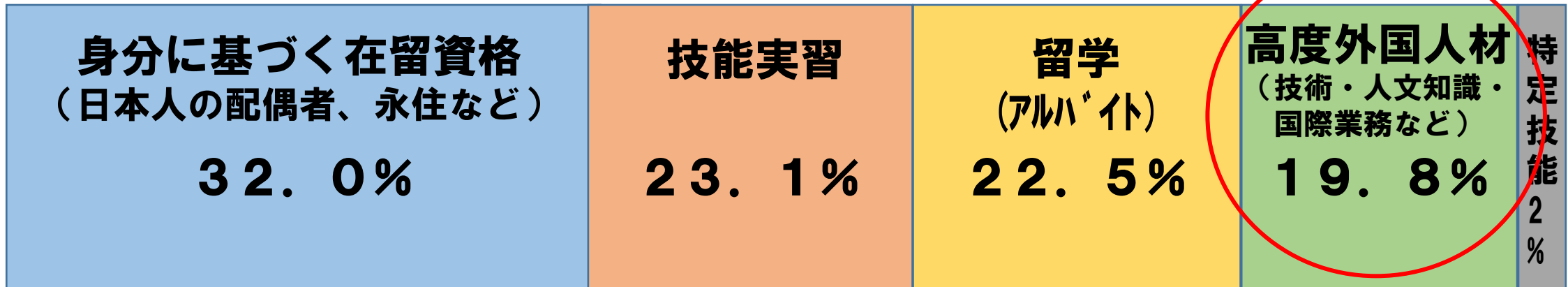


外国人留学生の正社員採用

在留資格別外国人労働者の割合（2019年）

165万8804人 **24万2608事業所**
 （労働者数、事業所数ともに過去最高）

外国人留学生の
 正社員雇用など



厚生労働省「外国人雇用状況」の届出状況まとめ
 （2020年1月末現在）

「技術・人文知識・国際業務」と技能実習（特定技能）の違い

【主な採用ルート】	留学生→正社員	現地から呼び寄せ	現地から/留学生
【在留資格の種類】	技術・人文知識・国際業務	技能実習	特定技能1号
【仕事内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・単純労働不可 ・専門性や言語、国籍の強みを生かせる職務 	定められた職種・作業範囲	定められた職種・作業範囲
【学歴条件】	原則高卒不可	高卒可	高卒可
【在留期間】	1～5年、何度でも更新可	原則3年	5年
【その他規定】	<ul style="list-style-type: none"> ・家族帯同可 ・転職可 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族帯同不可 ・転職不可 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族帯同不可 ・転職可

2. コロナ禍における外国人材の実態

在留資格別外国人労働者の実態

1. 最も深刻なのは「技能実習生」

※在留期限あり・職種限定・転職不可のため
(現在、コロナ禍における政府の救済措置あり)

2. 次に深刻なのは留学生のアルバイト

※外食産業等の業績悪化にともなうアルバイト求人の減少
(日本人学生と同様の状況)

3. 身分に基づく在留資格(日本人の配偶者、永住者等)

高度外国人材(留学生の正社員雇用等)

※業界・職種により、日本人労働者と同様の厳しい状況が続く



***留学生数：2019年12月末と比べ、2020年6月末の時点で約2割減少**

→今年4月の新入生の多くが入国できなかったため

***今後の見通し：政府は2021年入学の留学生は受け入れる方針**

→ただし、今後の世界のコロナ流行を引き続き注視する必要あり

**※すでに日本に入国している留学生たちは、引き続き留学継続中。
コロナ禍で留学生がどんどん帰国しているという状況ではない。**

3. コロナ禍にチャンスあり？ 留学生の就職事情の変化と今後の見通し

売り手市場から買い手市場へ

■2020卒採用までは、売り手市場が進んでいた

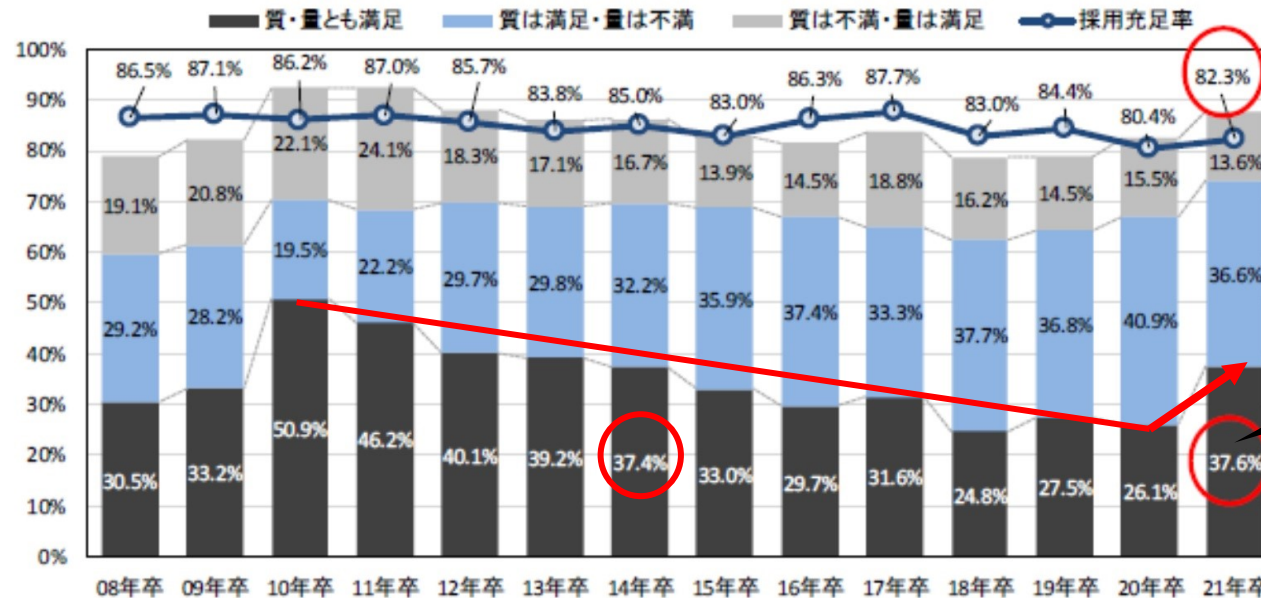
外国人留学生を採用した（する予定）

2018年卒	2020年卒
15.4%	35.8%

※2020年卒 マイナビ企業外国人留学生採用状況調査

※2019年11月19日～12月6日 WEBアンケートにて1,209社回答

■2021卒採用は、買い手市場の傾向へ



※21卒学生採用（留学生を含む）
企業が質・量ともに満足と答えた水準は7年ぶりに35%を超えた

マイナビ2021年卒企業採用活動調査
2020年6月実施

業界別に見る現状と今後の展望

1. 外国人観光客の激減

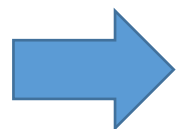
⇒空港、ホテル(外国人対応)、免税関係の仕事は、留学生の求人は
ほぼ「ゼロ」に等しい

2. 国内の旅行、外出の自粛

⇒旅行、小売、外食の求人は半減

- ・旅行=海外からのツアー客はゼロ
- ・小売=インバウンド対応はゼロ
- ・外食=テイクアウトは好調

この傾向は、今後2~3年は
続くとの見方も出ている



**上記の職種をめざしていた、文系で語学堪能な留学生の多くが、
2020年末時点で内定が決まっていない**

企業にとっては採用のチャンス

業界別に見る現状と今後の展望

3. 商社・メーカー

⇒業種によって影響はあるが、新卒採用全体の人数を減らして採用を続けている

- ・理系留学生＝昨年比8割程度の内定率
- ・文系留学生＝昨年比半分程度の内定率

採用減のしわ寄せが、
留学生に来ている
(外国人お断りの企業の増加)

例年であれば複数内定を得ていた、文系・理系の優秀層でも、
2020年末時点で内定が決まっていない人がいる

企業にとっては採用のチャンス

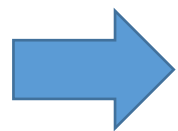
業界別に見る現状と今後の展望

4. IT・物流

⇒コロナの影響を受けていないというニュースを見て、
求職者が殺到している。

=学生側の競争率の激化

=企業側は優秀な人材を選べる状況



例年であれば自社には応募が来ないような、国立大学・上位私大の
学生から多く応募が来ている、との人事担当者談も

企業にとっては採用のチャンス